

2022年12月12日
日本共産党港区委員会
区委員長 吉川安代

安心して暮らし続けられる港区のまちづくりを求める 要望・提案書

貴職におかれましては、日頃より住みよいまちづくりのためのご尽力に敬意を表します。さて、2020年の新型コロナ発生以来3年、港区民は重大な影響を受けています。何より大阪府のコロナ死は全国一。感染ピーク時には医療機関にかかれないという、命に係わる深刻な事態に置かれました。中小零細企業の経営はかつてないほど深刻に、また、雇用が切られ、暮らしへの不安が続いています。

「大阪市港区まちづくりビジョン」はまちづくりの方向性を1.「区民主体のまちづくり」2.「安全・安心・快適なまちづくり」3.「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」4.「“子どもの学び”と“子育て世代”を応援するまちづくり」5.「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」としています。これらは住民の要望を聞くことなしには実現不可能です。地方自治の仕事は住民主人公の立場から地域の安全確保、住民福祉の向上です。ギャンブル依存症に住民を落とし込むことではないと思います。

私たちは港区をこれからも住んで良かったと誇れるような街にするためにいくつかの要望・提案をいたします。速やかなご回答をお願いします。

【安全な道路の通行のために】

- 1) 港区から大正区にかけての国道43号の公害をなくす本格的な対策に取り組む。阪神高速道路西大阪線（北津守～安治川）を無料にすること。
- 2) すでに決まっている弁天町交差点のエレベーター工事の着工を急ぐこと。
- 3) JR弁天町駅北口から国道43号を跨ぐ通路の自転車通行路を、車椅子や障害児用バギーが通行できるものに改善すること。
- 4) 弁天1丁目西側歩道（コーナン前からNTT前にかけて）と市岡2丁目1番地先から2番、3番地先（関西スーパー前）にある電柱を移設、歩道の整備など、安心して通行できるようにすること。
- 5) 弁天・磯路地域の大店舗敷地内に駐輪場の設置と整理・管理を求める。
特にドンキ周辺の歩道はドンキ駐輪場になってしまって無法状態。通行の障害になり衝突転倒事故の危険がある。公共の歩道を特定の企業のために使うことが許されるのかと批判が上がっている。
- 6) 市岡の尻無川沿い側道の歩道を、段差解消など整備をすること。
- 7) 市岡2丁目14番地先と市岡1丁目21番地先の間の交差点両側に横断歩道を付けること。

- 8) 国道 43 号とみなと通りの交差点にある「市岡元町 3」信号の 43 号を渡る信号（東西方向）と、43 号沿い繁栄商店街入口前にある「市岡元町 3 南」信号（東西方向）の青信号時間を移動弱者が安全に渡りきれるよう 10 秒程度長くすること。
- 9) 千舟橋北側歩道橋（通称夕焼け橋）の傾斜を緩やかにし、自転車や車椅子でも安全に通行出来るよう改善すること。
港区のホームページでは、築港・天保山エリアの課題の一つは「街の衰退が進んでいる」とことと認定。それを改善するには築港地域への往来を弱者にもしやすくする必要がある（ゆうやけ橋と千舟橋の接続部分から JAF 横の港晴西第 2 駐車場へ降りて JAF を迂回するルートを作ってはどうか）。
また、港晴地域から静波橋へのアプローチを直線的にすること。
- 10) 築港交差点からコーシャハイツ前の道路には大型車が頻繁に通る騒音、排ガス、交通障害は我慢の限界を超えているため大型車通行禁止にするなど適切な措置をとること。
- 11) 道路の白線が消えかかっているところは速やかにひき直しすること。

【 築港地域の医療水準をまもるために 】

- 12) 大阪みなと中央病院は弁天町交差点付近に移転したことで医療空白となった築港地域の住民に医療機会を保障するために早急な対策を講じること。
港区策定の「築港まちづくり計画」の進捗状況を明らかにし、過去 10 年間の港区と築港地区の年代別人口の推移を示すこと。
また、みなと中央病院跡地の利用について、「住宅用途を主目的とする条件を付して売却していただく旨、独立行政法人地域医療推進機構に了解していただいております」との同意を得ているということだが、その実現性の有無と、実現性が無い場合、大阪市はどのような対応を考えているのか。築港のまちづくりに、みなと中央病院跡地利用の果たす役割は最も大きいと考えられるので、回答を求める。

【 災害対策の整備について 】

- 13) 予想される南海トラフ巨大地震に備え、尻無川・安治川・三十間堀川・天保山運河の防潮堤の耐震補強工事を急いで完成する。また、津波・高潮対策を整えること。
- 14) 全校下に、津波・高潮時の避難場所の指定と確保を急ぐこと。また、指定されている津波避難ビルの夜間、休日にも対応できるようにすること。
前回の市の説明では「民間施設の夜間対応は困難であるが、…受け入れ施設をふやしていく」であったがその取り組みの進捗状況を示すこと。
- 15) 町の公衆電話が少なくなっている。災害時のライフライン確保のためにも公衆電話の増設が必要。撤去された公衆電話の台数などを調査し、十分な数を設置するよう NTT に要請すること。

【 市民の足を確保する交通網へ 】

- 16) 地下鉄弁天町駅・朝潮橋駅・大阪港駅および JR 弁天町駅にホームドアを早急につくる。運賃値上げは行わないこと。

- 17) 弁天町駅正面入り口とタクシー乗り場側の階段に手すりがなく危険なので、手すりを付けること。
- 18) また、JR 弁天町駅の改修計画があれば明らかにすること。計画の中に北口の閉鎖があるのであれば変更すること。地域住民・移動弱者に利用しやすくすること。
- 19) 赤バス（港ループ）を復活すること。
- 20) バス停を変更する時は、使用者にわかりやすく明示する。バス停に雨よけやベンチをつけること。
弁天町のバス停は東方向行きと西方向行が同じバス停になっていて紛らわしく、間違っ
て乗ってしまう人が出ている。通勤時は昇降客が多く混雑するのでバス停を二か所に分
けること。

【 公営住宅の確保・住環境について 】

- 21) 進行中の「大阪市営住宅ストック総合活用計画」で進められている市営住宅の建て替
えは予定通り行い、建設戸数を増やす。建て替えのない中層住宅では高齢化が進み階段
の昇降が困難である。エレベーターの設置など住環境の向上を図る。家賃は据え置くこ
と。建て替え移転後の跡地は民間に払い下げではなく、住民の要望にそって活用するこ
と。
- 22) 市営住宅においては高齢化が進み、自治会役員の成り手が居なくなり地域社会が成り
立たなくなっている。若い世代も入居できるよう対策を講じること。
- 23) 近年、市営住宅には日本語が通じない住民が増えているが文化や生活習慣の違いから、
度々、他の住民との間でトラブルが起こっている。入居時の説明納得を徹底し、トラブ
ル発生時は管理センターが入り積極的に解決に努めること。

【 跡地の活用について 】

- 24) 臨港線の跡地は、緑地公園（遊歩道）、小規模家庭菜園などに活用するよう市が確保
すること。
また市岡4丁目の抽水場跡地は、市営住宅、公園など住民の要望にそって活用すること。
- 25) 市岡商業高校跡地は区民の安全と福祉のための共同の土地として活用すること。
津波・高潮の避難施設、子育てや青少年の活動、高齢者の憩いの場など、区民のねがい
を広く集めて有効活用を図ること。
- 26) 三十間堀入堀部の埋め立てによる土地利用の計画作成に際しては公園や小規模家庭菜
園等、地域住民の意見を取り入れて計画すること。

【 高齢者、障害者対応について 】

- 27) 高齢者、障害者など移動弱者が、安心して散歩や買い物、病院などに休みながらいけ
るように歩道にベンチを設置すること。

28) 高齢化・独居世帯が増加するなかで、行政として孤立死、孤独死防止への対策をとること。

【 公園・施設の拡充を 】

29) 青少年や子どもたちが気軽に使える施設やグラウンドをふやす。文化、学習、ボランティアの活動など、誰もが廉価で使える施設をつくること。

30) 公園に高齢者用の運動器具を増設すること。

31) 公園のトイレは男女を別にし、整備・清潔保持に努め、おむつ交換台や荷物置台の設置をすること。

【 教育関係について 】

32) 他区同様、学校選択制の導入が一因で学校の規模格差が生じ、市立学校活性化条例で示す適正規模を下回る学校（築港、港晴、八幡屋、池島）がいくつも生じている。それを理由とした統廃合を進めないこと。小学校は地域コミュニティの基礎であり、災害時の避難所として重要な役割がある。

【 住民の声が届く区役所にするために 】

33) 区役所に「なんでもやる課」のような住民の声が届きやすい窓口を作ること。

【 廃屋問題 】

34) 倒壊や火災の恐れがあるので、廃屋は市が買い上げることを含め、何らかの対策をとること。

【 選挙ポスター掲示板について 】

35) 弁天 1、2、3丁目の選挙ポスター掲示板は人通りが少なく目立たないところに設置されている。逆に4、5、6丁目は全域で一か所しかないので改善を求める。